

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立大隅西小学校

児童数

36

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.08	19.92	37.85	33.23	30.83	9.79	128.23	16.83	49.27
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	20.05	17.27	42.62	28.67	29.63	9.42	135.48	11.86	53.17
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

本校の結果を全国・大阪市平均と比較すると、運動習慣の二極化と高評価層の不在という課題が浮き彫りとなった。体力合計点では、女子（53.17点）が大阪市平均を上回る一方、男子（49.27点）は全国・市平均を下回った。特に総合評価Aの児童が男女ともに0%であり、全体的に体力の底上げが必要である。意識面では、「運動やスポーツが好き」の回答割合は全国平均を下回り、これが運動時間にも直結している。週の総運動時間が60分未満の児童は、男子15.4%、女子19.1%と全国平均より高い状況である。特に女子は、「運動時間0分」が14.3%に達し、全国平均（8.7%）を大きく上回る課題が見られた。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体力合計点において、女子は大阪市平均を上回る結果が見られ、これまでの運動機会の取り組みには一定の成果があったと考えられる。また、体育の授業における運動量の確保や、運動に親しむ活動の工夫により、体力の維持・向上につながっている児童もみられる。しかし、男子の体力合計点が全国・市平均を下回っていることや、総合評価Aの児童がいない現状を踏まえると、基礎的体力の底上げとA評価に近い児童の両面からの育成が必要と考える。また、「運動時間0分」の女子児童も一定数いることから、日常的に運動に親しめる環境をつくり、達成感を味わえる活動の充実を図り、体力向上の取組を推進していく必要がある。